



第 112 回例会
ご案内

後援 平取町立二風谷アイヌ文化博物館

講演と報告とドキュメンタリー映画『Ainu | ひと』上映

2024. **6/29** (土)

13:30~

札幌エルプラザ 4F 中研修室



アイヌ文様の彫刻体験 JHL 2024/3

アイヌ文化への関心

英国における

ポーランド

フロニスワフ・
ピウスツキのいま



アイヌ古式舞踊の披露 JHL 2024/2



- I 講演：長田佳宏 平取町立二風谷アイヌ文化博物館長 ワルシャワ上映会(2023/9/10)にオンライン出演した 溝口監督
 ジャパン・ハウス ロンドン JHL におけるアイヌ文化展について
- II 〈ビデオレター〉 溝口尚美 監督(在ニューヨーク)
 『Ainu | ひと』ワルシャワ上映会の報告
 観客の声：三和昭子さん(在ハレクロヴァ) / 石塚芳明さん(在ワルシャワ)
- III ドキュメンタリー映画『Ainu | ひと』2018 | 81分 上映 今回ビデオレターに出演する 三和さん/溝口監督/石塚さん

入場無料、定員 40 人、予約推奨【お問合せ先】hokkaidopolandca@gmail.com, 080-4071-0956 (安藤)

ロンドンで沙流のアイヌ文化を発信する
~1910年と2023年の取り組みを主として~

長田 佳宏



ドキュメンタリー映画
『Ainu | ひと』の制作経緯

溝口 尚美

2023年11月16日から翌年4月21日までの約5か月間、ロンドンに所在するジャパン・ハウス ロンドンで“Ainu Stories: Contemporary Lives by the Saru River”展が行われました。

北海道アイヌの様々な文化継承や今日的な姿を発信する企画として、2018年から JHL と北海道大学アイヌ・先住民研究センター、平取町が構想を練る中で進められてきました。途中、コロナ禍により開催が危ぶまれましたが、多くの平取町民の協力を得て無事開催に至りました。

展示の内容は今日のアイヌ文化継承や暮らしの紹介を主としつつ、イギリスと沙流アイヌの歴史的な関わりも随所に織り込んでいます。

その一つに1910年にロンドンで開催された日英博覧会があります。博覧会会場にはフロニスワフ・ピウスツキも赴き、アイヌとの交流の中で多くの口承文芸が採集されたと言われています。

“Ainu Stories”展は、この出来事から113年を経て開催された大規模なアイヌ文化の普及事業です。講演では様々な資料をとおしてこの2つの催しを紹介し、一世紀を超えた沙流アイヌの想いを伝えます。

(おさだ・よしひろ)

「日本の Ainu という先住民族は、どんな暮らしをしているの？」というコロンビア人とチリ人の同僚からの問いに答えられなかった事が、私がアイヌ民族に興味を持つきっかけでした。関西からニューヨークに移住して4年目の2008年、先住民が自ら映像制作する事を目的とする非営利団体を設立した年です。

母国の先住民の事を知らなければ！と北海道に飛び、平取町を訪れました。当初は地球の裏側で暮らす先住民族同士のビデオ交流を模索しましたが、2014年に団体を辞任し、二風谷アイヌ文化博物館と私との協働制作という形で映像を記録し始め、2018年にドキュメンタリー映画『Ainu | ひと』を完成させました。

この作品は地元の人々の協力なしには生まれなかったものです。二風谷アイヌ語教室へ初めて見学に行った時、緊張気味の私に運営委員長の川奈野一信さんが「どっから来たんだい？」と声をかけて下さり、アイヌの事を勉強したいのにお金に困っているなら…という言葉に甘えてホームステイをさせてもらう事になり、約10年の間に地域の様々な人たちとも交流できました。

映像には、主人公4人のストーリーだけでなく、カメラを持つ「私」と映っている「ひと」との関係も記録されているのでご注目ください。

(みぞぐち・なおみ)